

1, 概要

・子どもセンターでは、こども園・へき地保育所が日々の保育を振り返り今後の園運営に活かすことを目的に

下記の4項目を柱に評価を実施しました。

- 1) 保育の質を高めるため
- 2) 園の運営を見直し改善を図るため
- 3) 職員の自己点検・意識向上
- 4) 保護者への説明責任

2, 結果と分析

- 避難・防火訓練、緊急時対応、保育室の清潔、安全について目に見える安全策を徹底しているという信頼感がありました。
- お子さんが安心して楽しく遊べる環境があり、遊びの質が充実し、お子さんの心の安定と主体的な遊びを提供できていると評価をいただきました。
- 事故防止については、日々ヒヤリハット対策を行い、未然に防ぐ意識を向上させるよう努めていますが、保護者には見えにくいという点を認識しました。
- 話しやすい雰囲気があるという回答が多く、保護者が日頃から保育士に対して、心理的なハードルを感じずに接することができるが見えました。
- 職員間の連携や情報共有は、保育士が協力している姿は見えているものの、連絡事項が他の保育士に伝わっていない事があるといった連携不足を感じていることが見えました。
- 情報発信は、園だより、掲示物、コドモンでの発信は情報量が多く、どこを見て良いか迷うなど、不便を感じている可能性が示唆されます。

3 今後の対応

- 園内での事故防止対策が、保護者から見て具体的にどのように行われているか、より丁寧な情報発信をし、ヒヤリハット対策を行う事でさらなる安心感に繋がるよう努めます。
- 保育士の申し送りルールを再徹底し、細やかな情報を伝えることで、発信の向上を図ります。
- 一人ひとりの関りは、多くの保護者が満足している結果ですが、それぞれに寄り添ったエピソードをコドモンや連絡帳、送迎時に伝える事の大切さを意識していきます。